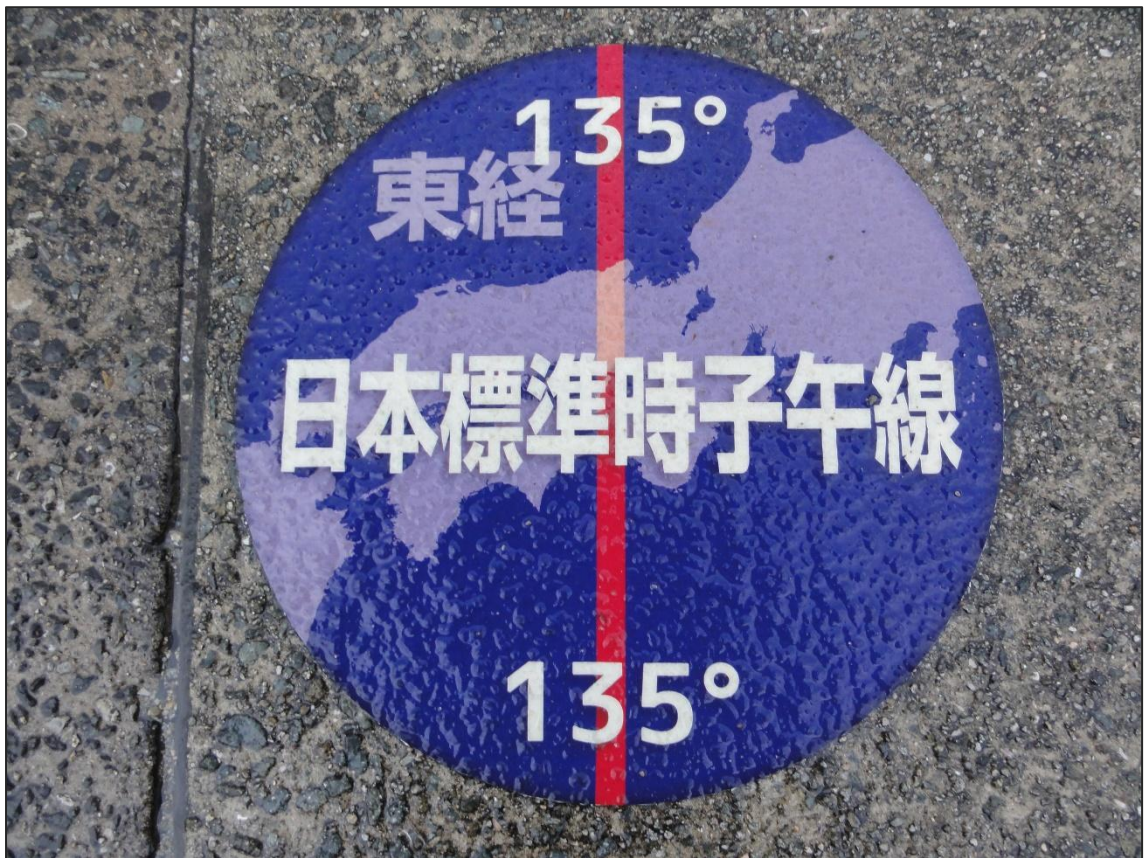


山まびこ

YAMABIKO

2018
(平成30年)

10月号



東葛山の会

No. 491

10月・11月 予定表	1
9月例会報告（1出席者・2山行実績・3議事録）	2～4
山行案内	5～10
山行報告	
・飯豊山（井上順）	11
・水ノ登・竈ノ塔山（井上順）	12
・志賀高原の山（石塚・蓮見・畑中）	13～14
・桧枝岐歌舞伎見学と燧ヶ岳登山（加藤）	15
・笠取山（伏見）	16
・蝶ヶ岳に登って（清水）	17～18
・高麗峠～天覧山ウォーキング（池谷）	19～20
体験から学ぶ山行の知恵袋（四元）	21
短歌「夏山を振り返り」（羽鳥）	22
おすすめの山の宿（菊池）	23
新シリーズ・思い出の山 小浅間山（前田節）	24
ちょっと一言（井上順・山口幸）	25

表紙写真紹介

この写真を見て『何…?!』と思われる会員もおられるかと思います。『明石市』の海岸沿いにある遊歩道（ランニングコース）の路上に埋設されていたマークです。明石市内の『東経 135 度子午線』上には、多くの記念の『塔』や『石碑』『線』そして『建物』などがあり、全てを見て回りました。『駅のプラットホーム』や『郵便局の駐車場』などには、『線』が引かれています。『日本標準時』関連に関心のある方は、是非一度訪れることをお勧めします。

～安彦秀夫～

会報部からのお願い ＜表紙写真＞

11月号は安田さん、12月号は松本さん、よろしくお願いします。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月第二例会までに、会報部（鈴木）へ提出してくださるようお願いします。

予定表 2018年 10月・11月

日	曜日	10月	日	曜日	11月
1	月		1	木	
2	火		2	金	会報部印刷(11月号)
3	水	第一例会	3	土	文化の日
4	木		4	日	
5	金		5	月	
6	土		6	火	
7	日		7	水	第一例会(会費集金)
8	月	体育の日	8	木	
9	火		9	金	
10	水	山行部会	10	土	秩父丸山
11	木		11	日	丸山(予備日)
12	金		12	月	
13	土		13	火	
14	日	↑ 皇海山(一泊二日)	14	水	山行部会
15	月		15	木	
16	火		16	金	
17	水	第二例会	17	土	霞丘陵(ウォーキング)
18	木		18	日	
19	金		19	月	
20	土	秩父御岳山	20	火	
21	日		21	水	第二例会
22	月		22	木	
23	火		23	金	勤労感謝の日 北高尾山稜
24	水		24	土	
25	木		25	日	北高尾山稜 予備日
26	金		26	月	
27	土		27	火	編集会議&カラー印刷(加藤宅)
28	日		28	水	県連海外登山(チェンダオ山)
29	月	会報部編集会議	29	木	↑ 印刷(12月号) ↓ 11/28~12/5
30	火	カラー印刷(加藤宅)	30	金	
31	水				

※2018年12月の予定

★12/1 佐倉城址公園紅葉ウォーキング

★12/8 陣馬山

★12/15~12/16 忘年山行(赤城山周辺)

※会費集金のお願い: 会計・星田、蓮見

下期会費(4,000円) 11月7日 第一例会で集金します。

例会報告

第一例会出席者

2018/9/5

40 名

手塚、安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、小林和、伏見、高見、前田延、山岡、村田、入江、高山、間瀬、鈴木か、渡邊正、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、池谷、石塚、嶋本、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、逢地、赤塚、菅谷、星田、山口洋、小林正、井上順、山口幸、清水、畑中、高木、

第二例会出席者

2018/9/19

32 名

安彦、松本、加藤、桐生、村上、前田延、村田、入江、鈴木か、渡邊正、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、池谷、菊池、猪狩、羽鳥、井上勝、梅田、逢地、前田節、菅谷、蓮見、菅原、小林正、井上順、清水、畑中、高木、村上義、金子

2018年8月 山行報告

山 名	ジャンル	日	山行区分	人数	参加者
水ノ塔山・箆ノ登山下見	ハ	2	個	2	井上順、清水
仙丈ヶ岳	ハ	2～3	会	10	安田、桐生、江崎、永木、羽鳥、菅谷、蓮見、菅原、畑中、嶋本
常念岳～燕岳	縦	5～8	個	3	前田延、鈴木か、山脇
乗鞍高原・乗鞍岳	ハ	6～7	個	1	猪狩
御嶽溪谷の清流散策	ウ	18	会	8	高山、三橋、松本、八巻、高見、渡邊正、前田節、小林正
飯豊山	ハ	18～21	個	5	山口洋、山口幸、清水、井上順、羽鳥
東ヌプカウシヌプリ・アポイ岳	ハ	20～24	個	2	安田、菅谷
八方池ハイキング	ハ	22～23	個	1	小林正 (ツアー参加)
鬼怒沼山	ハ	22～23	個	5	鈴木か、前田延、江崎、逢地、嶋本
富士吉田口5合目トレッキング 下見	ハ	25	個	3	菅原、山口幸、山口洋
水ノ登山・東箆ノ塔山	ハ	26	会	11	梅田、加藤、村上、嶋本、前田節、伏見、小林和、永木、井上勝、星田、井上順
棒ノ折山(棒ノ嶺)	ハ	26	個	3	桐生、五十嵐朝、菊池
志賀山・岩菅山	ハ	26	個	6	羽鳥、猪狩、石塚、畑中、四元、蓮見
倉沢谷・長尾谷	沢	29	個	3	安田、江崎、菅谷

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウォーキング 沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り 雪…雪山、スキー

9 月例会議事

第一例会 9 月 5 日（水）

司会 会報部 高木

☆8 月山行報告（P2 参照）

- ・計 14 件、乗鞍欠席、外は全て報告あり。天候不順の中止や変更が多かったが、天候に恵まれた山行もあり花やライチョウ・ナキウサギ、また沢登りの報告もあり夏山を楽しめた模様。
- ・北海道の道路状況が悪化している。回り道や余分な歩程がかかるので注意（菅谷）

☆ 山行案内

9/15 高麗峠～天覧山（山岡）：参加者確認最終回覧中

9/23 三頭山（加藤）：参加者最終確認

10/14-15 皇海山（羽鳥）：参加者男女各 7 名で 14 名に 計画書は近日中にメール配信する。

10/20 秩父御岳山（高木）：9 月第二例会で募集、今週土曜に下見予定

11/10 秩父丸山（鈴木）：会報の案内通り、芦ヶ久保駅集合、金昌寺で解散。

10 月例会で募集 10/27 下見予定

11/17 霞丘陵ウォーキング（高山）：東青梅からバス 会報の案内参照

11/23 北高尾山稜・夕焼け小焼けコース（岡部）：☆⇒☆☆に訂正 日が短い時期歩程休憩込みで 6 時間かかるので注意 10 月第二例会で募集

☆ 県連予定（羽鳥）

9/30 ふれあいハイク 東葛から 22 名参加予定、当日は市の防災行事のためマイカーの駐車不可。近隣の駐車場利用のこと。バスの駐車許可は得た。視聴覚障害者と付添い 3 名が鎌ヶ谷から乗車するので、注意のこと。

11/10 事故防止交流集会 富津市民の森で、詳細はちばニュース参照のこと。

1/26-27 ロングハイク：前年の後半を消化する。36 回からは新コースを提案する。

☆ 海外&忘年山行予定（安彦）

11/28-12/5 チェンダオ山：保険申し込みは早めに！登山のガイドはタイ語のみ。

12/15-16 忘年山行（赤城山）雪上ハイクは積雪状況次第で未定。温泉ではなく、また洗い場が 3 人分のみ、1 回 5-6 人が限度。10 月から募集予定。

☆ 各部報告

事務局（四元） 新入会者 2 名の紹介 金子真紀さん（体験で）、村上義春さん（広報を見て既に入会した）挨拶。公民館まつりの打ち合わせ 9/12 に

山行部（菅谷） 9/12 12 月会山行の検討、参加乞う。

会報部（梅田） やまびこ 9 月号配布。山の唄を終了したが、新シリーズを企画した。10 月号に第 1 回の例（前田節）を掲載するので、続けて名簿順に寄稿依頼する。「私の好きな山・忘れられない山・・・」

☆ その他（安彦） 8/30 の「ちばニュース交流会」の報告。各会の関心薄い。廃刊も可の意見もあり。会報の無い会も 4 あり。廣木会長終身で発行意思か。

・労山基金の事故給付の例：5 件あった。スポーツ保険はなし。

☆ 山行案内

- 9/23 三頭山(加藤) 9/16に下見した。5時間の予定は1時間多めに見るべし。
危険箇所なく、歩きやすい道。バス時刻14:45は16:45に訂正
- 10/14-15 皇海山(羽鳥)参加者交替あり 菅谷⇒江崎 人数変わらず14名。
- 10/20 秩父御岳山(高木)下見で時間修正要。余分に1時間+α、(ゆるい山)は
削除。危険箇所ないが倒木多い。交通費概算5,500円に訂正。
- 11/10 秩父・丸山(鈴木か)下見を10/27予定。10月例会で募集。
- 11/17 霞丘陵ウォーク 担当者欠席
- 11/23 北高尾(蓮見)予備日11/25 高尾からバス、夕焼け小焼けへ…八王子城跡
- 12/15・16 忘年山行(安彦)会報のとおり。積雪状況で変更有り。

県連関係

- 9/30 県連・ふれあいハイク(羽鳥)雨天決行 班分け発表、7点セット持参。
共同装備・東葛は簡易トイレの運搬を分担する。
- 11/28~12/5 チェンダオ山(安彦) 10/11(木)船橋西部公民館18:45~説明会。
- 2019 1/26-27 ロングハイク(羽鳥)前年の残りを歩く。東葛地区の前日コースに
チバニアンも入れた。10月例会で募集する。

☆ 各部報告

- ・事務局 2名の入会が決定した。村上さんと金子さん。
ふれあいまつりは昨年と同じ場所で開催する。ワカメ販売もするが、安い
仕入れ先を探す。展示写真は花がテーマ、古いものでもOK。協力を!
- ・山行部(菅谷)公開ハイクに代わる会員増策を、部内で検討した。
年間計画中の会山行に、市の広報「伝言板」で参加者募集掲載(年6回)
する。申し込みのあった市民のフォロー・世話役を会山行担当者が行う。
《賛否及び……様々な議論あり》
結論:大筋了承され、前進することとなった。
- ・会報部(梅田) 特になし。

☆ 県連(羽鳥・安彦)遭難・事故多い。転倒・滑落による骨折。年齢も当会平均と
と同年代。

- ・ウィークデイ山行来年4/11(木)に計画中 群馬県富岡の神成山 桜の見頃詳細未
定。会山行や行事とぶつからないよう事前に調整すること。
- ・労山カレンダー受付中。
- ・事故防止経験交流集会 11/10 富津で開催、参加を!

- ☆ その他(安彦) 高山に比べて低山で道迷いが多い。迷うと焦り、天候急変、日
没で切迫、注意力が減退する。転倒等の事故につながりやすい。
10年前に比べ道迷いが増加。年代別でも60代、70代が多く(45%)、当
会会員年齢と重なる。「安全登山」を心掛けて欲しい。
- ・海外登山のアンケートから意見を聞いた。海外ツアーを年2回程度計画したい。
オーストラリア最高峰&エアーズロック又はタスマニア等を考えている。

山 行 案 内

10月の山行案内

＊皇海山（すかいさん） 2,144m ☆☆

日 時：10月14日（日）～10月15日（月）

担 当：（CL）四元一成、（SL）羽鳥健一郎・梅田尚志・間瀬芳枝（会計）

＊秩父御岳山 1080.5m （体☆☆ 危険度★）

日 時：10月20日（土）

担 当：（CL）高木、（SL）村上・手塚・前田（節）

11月の山行予定

＊秩父・丸山（960m） ☆

山頂からは、関東平野を取り巻く山々が一望できる。山頂からは緩やかな雑木林の尾根道を歩く。紅葉が見ごろかも・・・。

日 時； 11月10日（土）、予備日：11月11日（日）

集 合： 8:35 西武池袋線・芦ヶ久保駅、 解散：金昌寺

交 通（参考）

（往路）：北総線新鎌ヶ谷駅 5:53→東松戸 5:59_06:12→新秋津 07:07…（徒歩）…
秋津 07:17→小手指 7:26_7:35→芦ヶ久保 08:35

（復路）：金昌寺バス停 14:52→（バス）→西武秩父駅 15:12 220円

西武秩父駅 15:25→（特急ちちぶ 32号）→池袋 16:47_16:54→日暮里 17:06
_17:11→京成高砂 17:28_17:45→新鎌ヶ谷 18:02

コース：芦ヶ久保駅…(25)…合流地点…(70)…山頂分岐…(15)…頂上…(20)…森林学習
展示館…(70)…南北コース合流地点…(45)…金昌寺前バス停

歩 程： 登り 110分、下り 135分 計 4時間 5分 【標高差】 643m

エスケープルート： なし

概算費用； 電車+バス 約 4,500円

その他：入浴希望される方

金昌寺バス停付近に「新木鉦泉」（日帰り入浴可）あり

入浴料；土・日・祝日¥900 バスは一本後の 15:50 利用

担当：（CL）鈴木か、（SL）村田・井上順

*霞丘陵ウォーキング

日 時：11月17日（土）

交 通

（往路）新鎌ヶ谷駅発 6 時 56 分—新八柱—西国分寺—立川—東青梅 バスで岩蔵温泉に

コース：岩蔵温泉（40 分）・・・七国峠（20 分）・・・笹仁田峠（50 分）・・・塩船観音寺（30 分）・・・東青梅

バ ス：東青梅駅北口より 9 時 13 分発

歩行時間：2 時間 20 分（6km）

費 用：3,200 円くらい

担 当：（CL）八巻、（SL）高山

*北高尾山稜（夕焼け小焼けコース）（体☆）

交通の便が良く、紅葉が楽しめる

日 時： 11月23（金）祝日、予備日 11月25日（日）

交 通

（往路）：①西白井 5：50—東松戸 5：59_6：12—新八柱 6：16—西国分寺 7：15_7：26—高尾 7：50

②新鎌ヶ谷 5：50—八柱 6：02・・・新八柱 6：16

高尾駅北口バス「陣馬高原下行き」 8：10—夕焼け小焼けバス停 8：35

（復路）：八王子城跡バス停「高尾駅北口行き」 15：20—高尾駅 15：30 高尾駅解散
（1 時間 1 本 全て 20 分発）

コース： 約 10 k m 歩行時間 4 時間 50 分（危険箇所は殆どはなし）

	（標高）（250m）	（621m）	（547m）
夕焼け小焼けバス停・・・夕やけ小やけふれあいの里・・・黒ドッケ（杉の丸）・・・狐塚峠・・・富士見台（杉沢の頭）			
（スタート）	0：05	1：40	0：35 1：00
（446m）（230m）			
・・・八王子城山・・・八王子城跡管理棟・・・八王子城跡バス停			
	0：50	0：30	0：10

エスケープルート：なし

概算費用： 電車 約 3000 円 バス 500 円+180 円

その他： 八王子市観光課 042-620-7378

担 当：（CL）猪狩、（SL）岡部・蓮見

12月の山行予定

*佐倉城址公園の紅葉ウォーキング

日 時：12月1日（土）

集 合：京成佐倉駅に10時10分頃

交 通：（往）

① 新鎌ヶ谷 9:13—JR 船橋 9:26_9:38(京成船橋・快速佐倉行)—京成佐倉 10:09

② 新鎌ヶ谷 9:19—京成津田沼 9:44_9:51(特急成田空港行)京成佐倉 10:11

コース：京成佐倉…武賀神社…佐倉城址公園…新町通り…京成佐倉駅

担当：(CL) 松本、(SL) 山岡

*陣馬山 855m 体力☆

頂上は360°の大パノラマ“富士山、スカイツリー、江ノ島まで見える”

日時：12月8日（土） 雨天中止

交通：

（往路）集合“鎌ヶ谷 6:50—船橋 7:01_7:07—御茶ノ水 7:38_7:41—高尾 8:34_8:44—藤野 9:02_9:15 バス—陣馬登山口 9:20

（復路）陣馬登山口 13:49 バス—藤野駅 13:54

コース：

（登り）一ノ尾尾根コース、1時間40分 陣馬登山口 9:30…陣馬山山頂 11:10

（下り）奈良子尾根コース、1時間40分 陣馬山山頂 12:00…陣馬登山口 13:40

歩行時間：3時間20分 10.2km

標高差：登り、下り、共に655m 急登なし

交通費；電車… 休日おでかけパス 2,670円

バス…藤野駅～陣馬登山口往復 350円

（藤野駅～やまなみ温泉往復 460円）

その他：昼食 1食、陣馬山下山後、藤野駅で解散

担 当：(CL) 池谷、(SL) 渡邊・山口・逢地

*忘年山行 赤城山周辺雪上ハイク

日 時：12月15日（土）～16日（日）＜1泊2日＞

担 当：(CL) 安彦、(SL) 八巻・三橋

忘年山行：赤城山周辺雪上ハイク

館内に溢れる木肌のぬくもり、昭和の香りそのままにゆっくりとした時が流れ、
大自然を望む展望浴場と雄大な自然が日々の疲れを癒してくれます

(旅館パンフレットより抜粋)

日程：2018年12月15日(土)～16(日)＜1泊2日＞

集合・出発：12月15日(土) 午前6時集合出発 鎌ヶ谷市役所

帰着・解散：12月16日(日) 午後9時頃 鎌ヶ谷市役所帰着後解散

宿泊：湖畔の宿「青木旅館」 10,620円/1泊2食付(税・サービス込)

群馬県前橋市富士見町赤城山8 TEL 027-287-8511

会費：22,000円(交通費・宿泊費・飲み物代、2日目入浴・昼食など)

装備：防寒具/雨具、帽子、手袋、ロングスパッツ、登山靴、ザック、ザックカバー、
ストック、軽アイゼン、テルモス、着替え、タオル、初日昼食、行動食など

バスコース：(片道約5時間半/休憩含む)

① 12/15 鎌ヶ谷市役所 6:00⇒関宿⇒五霞IC⇒＜圏央・東北道＞⇒

羽生PA 休憩)⇒＜東北・北関東・関越道＞⇒前橋IC⇒旅館 11:40頃

② 12/16 往路を戻る ホテル発 15:00⇒鎌ヶ谷市役所着 20:50頃(解散)

ハイク：(天候などにより変更あり)

① 12/15 午後：長七郎山～小地藏岳(約2時間30分) 八丁峠近く駐車場⇒宿

② 12/16 午前：地藏岳(約2時間30分) 宿より往復

幹事：CL 安彦秀夫 TEL：090-5827-0571 SL 八巻幸子、三橋和子

メモ：

- 1) 鎌ヶ谷観光バス有限会社の『大型バス』を利用します。
- 2) 参加者募集および確認は、10月と11月の各例会にて行い、最終締め切りは、12月第1例会(12/5)に行います。
- 3) 2日目12/16は、午前中にハイキングをし、旅館に戻って入浴後、昼食を摂り、旅館を午後3時頃に出発する予定です。
- 4) この時期(12月中旬)は、例年ですと積雪量は少ないそうです。
- 5) ハイキングをせずに、旅館でのんびり過ごしたり、大沼(おの)湖畔を散策したりする方も、是非ご参加ください。
- 6) 長七郎山と地藏岳の山頂からの大展望を楽しみましょう！晴れますように…。
- 7) 30名で予約済みです。
- 8) 雪上ハイキングコースについては、当日の天候や積雪状況などによって変更もあります。
- 9) 赤城山大沼周辺には温泉はありませんが、山の伏流水を沸かしており、なめらかで温まると好評とのこと。浴室は、大沼が眺められる男女各1室で、浴槽は広いですが、水道とシャワーが各3個で、一度に5～6名の利用が可能とのこと。

♪♪♪ お好みの飲み物と肴を適量ご持参ください ♪♪♪

この1年の山行を振り返り、新年の希望などを語り合いましょう！

県連予定行事

＊2018 事故防止・経験交流集会

主 催：千葉県連盟・教育対策委員会

日 時/場所 11月10日（土）13時～11日（日）12時終了

10日＜12：00 管理棟にて受付開始＞

富津市民の森 千葉県富津市豊岡 2785-1 0439—68—0929

＊海外登山 チェンダオ山（タイ）

11月28日～12月5日

詳細はちばニュース4月号を参照してください。

＊第35回房総ロングハイキング

七里川温泉

2019年1月26日（土）～27日（日）

詳細はちばニュース7月号を参照してください

全国行事の紹介

＊第17回全国登山研究集会 in 愛知

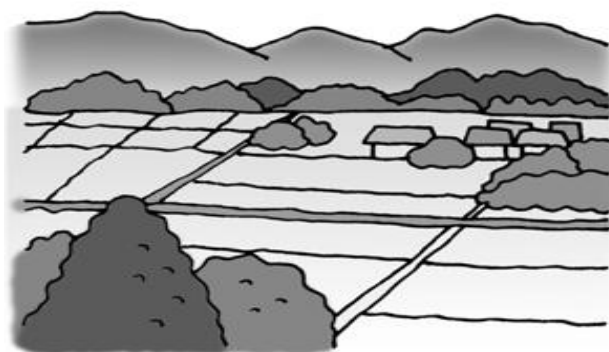
11/23（金）～24（土）

愛知県民の森モリトピア愛知（宿泊施設） 愛知県新城市

参加費用：1泊2食 8,500円

参加申し込み締め切り 10/25（木）

※詳細はちばニュース7月号を参照してください。



2018 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。
今回は場所を「富津市民の森」に変更し、全国遭難対策担当者会議の資料を題材に進めていきます。また国際山岳看護師の講演もありますので、各会の積極的な参加を期待します。詳細は下記を参照下さい。

記

1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会

2) 日時／場所 11月10日(土) 13時～11日(日) 12:00 終了

10日<12:00 管理棟にて受付開始>

富津市民の森 千葉県富津市豊岡2785-1 0439-68-0929

3) 内容 11/10 (1)、今年度の事故に関する報告 13:10～13:50

まつど遠足クラブ、船橋勤労者山の会、かがりび山の会、
千葉こまくさHC

(2) 全国遭難対策担当者会議報告 13:50～14:20

(3) 全国事故事例のディスカッション 14:30～15:30

4 班に分かれて二つの事例を議論する。

事例1：野火止山の会の事故

事例2：持病のある人に対する対応

(4) 事例研究発表準備 15:30～16:20

(5) 国際山岳看護師の講演 16:30～17:30

夕食／各会紹介／交流会 18:00～21:00

11/11 ⑦事例研究発表 8:00～11:30

各班は、7点セット、医療品、ツェルトを使用して救急法、
搬送法、ロープワーク、救助要請、ビバーク等を順番に実演する。

4) 参加費 2,000円／人。交通は各会毎に。 単日での参加可<費用500円>。

5) 装備／食事

各会毎：7点セット（スリング60cm2本、120cm1本、
カラビナ3<うち環付き1>、補助ロープ6～8mm*10m）、ツェルト、
飲み物、食材（炊事場・食事卓は外のキャンプ場）

各自：座布団（会議室の椅子は木製）、シュラフ一式。

6) 宿泊設備 バンガロー、コインシャワー有り。

7) 実施規模 40名程度（スタッフ含む）

8) 参加申込／締切 申込書添付にて教育遭難対策委員会 廣川

hirokawa2583@yahoo.co.jp

090-6122-8354 10/28 締切

会場の都合上、申込多数の場合は、調整する事が有ります。

9) 問い合わせ先 教育遭難対策委員会 伊東：itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384

飯豊山

8月18日（土）～21日（火） 羽鳥・清水・山口（幸）・山口（洋）・井上順（記）
昨年・一昨年と天候不良で中止。今回は念願叶い4日間晴天に恵まれた。

移動は車（山口車）。米沢の上杉神社（ボランティアガイド依頼）や上杉家廟所見学で、持てる知識（？）に更に磨きをかけ（??）、飯豊町・広河原湯ノ沢にある「湯の華」で間欠泉を見ながらひと浴び。宿は小林和子さんの親戚の民宿「庄太郎」でお世話になる。登山前日とは思えない大歓迎を受け、若主人（和子さんの甥）も一緒になって酒を酌み交わした。

二日目。大日杉登山口まで車で送ってもらう。地蔵岳までの急登が勝負かと思いきや、そこから切合小屋までも登り下りがあり7時間を要した。「小屋の水は期待できない」との下山者の情報から、小屋手前の沢で水の補給と命の洗濯をした。小屋直下の雪渓は溶けて無し。山小屋は満員。水はチョロチョロ以下。まずは雪渓の雪で冷やした 350ml・800 円の貴重な缶ビールで乾杯。夕食はカレーライス。トイレは別棟で手動水洗。臭いも少なく快適だ。熱気むんむんの小屋の二階で、持参のシュラフに半身入れ眠りについたが暑かった。

三日目は5時出発。飯豊山・駒形山の往復。昨日の登山道とは異なり、正に天空の尾根道。「これぞ飯豊」と言わんばかりの雄大な山容と稜線が続く。遙か彼方に米沢盆地そして猪苗代湖が雲海に埋まる。確かに山が深い。白峰三山縦走時も同じ事を感じた。飯豊山頂からの眺めは最高だった。山の名前が分かればもっと楽しいはずだが。初めて見る三角形に尖った磐梯山の山容がやけに印象的だった。やっとのことで達成した登頂の満足感に一人浸っていた。

期待した駒形山付近の花畑は何処やらへ。帰路本山小屋を下った水場で再度水補給し、二日目の山小屋での宿泊に備える。14時小屋に戻る。高価でも我慢できないビールで再び乾杯。その日もまたまたカレーライス。小屋は空いていて広い寝場所が確保できた。

四日目は朝から暑い。下山途中、何度も休憩をとりながらの想定外の水分補給。展望も無く、ひたすら下る体力レース。1000mほど下ったところで、高まった体温を下げるためにしばし長めの休憩をとった。

11時半登山口に到着。ハイタッチで下山の無事を祝う。その後、預けた荷物を受取りに寄った「庄太郎」で思いも寄らぬ歓待。留守宅には冷えた飲み物や



果物、漬物が…。遠慮なく上がり頂く。疲れが癒され大満足。帰路、白川温泉で昼食、一路鎌ヶ谷へと走った。

念願の飯豊。達成感は計り知れなかった。

皆様ありがとうございました。

運転ご苦労さまでした。

山行報告

会山行報告 水ノ登山 (2202m)・東麓ノ塔山 (2227m)

8月26日(日) 参加者 ; 梅田、永木、加藤、村上、伏見、井上(勝)、
小林(和)、嶋本、前田(節)、SL星田、CL井上順(記) 計11名

北陸新幹線「佐久平駅」8:20 集合。天気はまずまず。思いの外豪華な JR バスに揺られること1時間。下界の暑さを忘れる「標高 2000m」と記された高峰高原温泉に到着。一昨年、忘年山行で来た時の雪の中の景色とはかなり雰囲気が違う。ガリガリ雪面で苦労した「アサマ 2000 パーク」のゲレンデも「こんな地形の所だったんだ…」と当時を思い出す。

水ノ登山までは岩場があり慎重に行動。登山道は展望の良さと涼風で快適。山頂からは南側の展望のみ。ここからは尾根歩き。途中崩壊が続くやせ尾根を歩く。登り始めてから2時間10分で東麓ノ塔山頂に立つ。人が多い。池の平から往復する軽装組が居るからか? 360度の展望は抜群。日陰は無いが風が涼しく快適だ。ゴロゴロした石場だが、ゆっくり昼食をとる。いつものことながら、山ガール自慢の漬物やフルーツが次々と回ってくる。申し訳ない気持ちだが、有難いので遠慮なく頂く。

下山は眼下に見える池の平湿原を目指して一気に下る。40分ほどで到着。高木の林の中のベンチでしばしのトイレタイム休憩。涼しい。池の平湿原散策は花が終ってしまったためパス。時間的な余裕から歩行速度を落とし、休憩時間を増やした山行。下山中から「泡」の話題が出始めている。待ちどおしい…。

この先は退屈な40分の林道歩き。高峰高原温泉に着いた順に「ランプの湯」に浸る。乳白色の硫黄の香りプンプンの心身共にリラックスできる湯だ。狭いので一時的に混雑するが、意外と回転が速くしばらくすると空いてくる。久々の硫黄泉にゆっくり浸かる。

休憩室に戻ったら既に宴たけなわ。帰りも同じ JR の豪華バス。この時、この



バスが新宿まで行く事を知った。

今回の山行のキャッチフレーズ、「しばしの涼しさ」「展望の良さ」「名湯に浸かる」が全て揃った楽しい山行でした。

ご協力ありがとうございました。

志賀高原の山

8/26（日）～8/28（火）

参加者：羽鳥（C L）、石塚（S L）、猪狩、四元、畑中、蓮見

1 日目 8/26

石塚 洋子

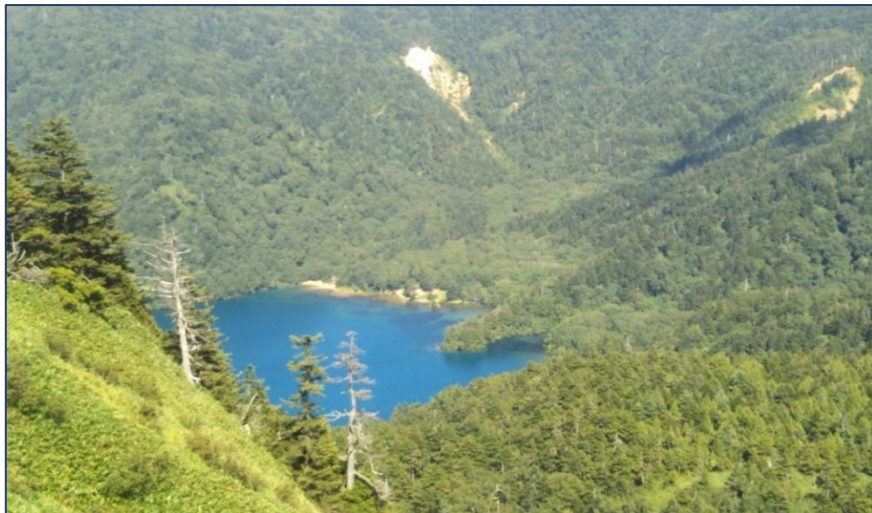
新幹線に乗り、長野からバス。志賀高原に着いたのは昼頃です。

6 名様貸し切りの前山リフトに乗りハイキング気分で志賀山 2035m、その奥の奥志賀山は 2040m。展望が良くラッキー。下山はエメラルドグリーンの大沼へ。ここでバスの時間と歩く時間を見たら、ギリギリセーフでした。

ここからが山の会の本領発揮です。

皆でせっせと歩いたら、『あら！20 分前にバス停到着』

初日は、美味しすぎる夕食とハラハラドキドキの歩きで、充実感いっぱいになりました。



2 日目 8/27 岩菅山

蓮見 久美子

宿の朝食をゆっくりいただいたあと、蓮池から 8:55 のバスに乗り発哺まで、そこからゴンドラで標高 2000m の東館山植物園へ。ゴンドラは昨日で営業終了でしたが、今日は団体客があるという事で特別に動いていました。植物園から登山口のある寺子屋スキー場の上までリンドウやアキノキリンソウの花、トンボが飛んで初秋を感じました。でもその後の樹林帯はまだまだ暑くて汗だくです。上り下りを繰り返しノックリを過ぎしばらくすると、岩とゴロゴロした石の急登が始まりました。昨日志賀山からも見えたあの一本道です。

途中ザックを置き、水・食料・かっぱだけをレジ袋に入れ背負って慎重に登る。12:40、2,295m全員登頂。北アルプスは雲に隠れていましたが、すばらしい展望に癒されました。

下山は一の瀬へ向かいます。ノッキリ分岐から約1時間、アライタ沢に出合いゴウゴウと流れる水を見てホッと、冷たい水に飛びつきました。一の瀬では予定より1本早いバスに飛び乗れたので、先発で今日帰る四元さんと二人、蓮池バス停そばのホテルでゆっくりお風呂に入ることができました。今回も皆さんと素晴らしい山歩きを楽しみました。



3日目 8/27

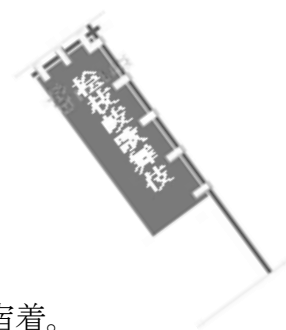
畑中 眞澄

あっという間に最終日、昨日の疲れもよい寝床と食事で回復、お二人が帰られたのと雨降りの予報なので自分の中でも士気が下がってきたが、言葉にはしなかった。打ち合わせの結果、笠ヶ岳登山は中止し、志賀高原歴史記念館を見学し早めのバスに乗ることに変更になった。若いころから何回かスキーで来てるし、グリーンシーズンも3回目であるけど初めて訪れました。猪谷千春記念コーナーもあり興味深く楽しめました。無料です。

帰りのバス停からは日本初の丸山リフトがすぐ近くに眺められ、猪谷さんもここで腕を磨いたのか・・・と、「私も今度は是非滑らなくてわ!」と気持ちは冬にむかってきました。

空いてる長電で湯田中から長野に向かい、改札口の直売で3個100円!の初物の桃と曲がりきゅうり7本入りを買って、羽鳥さん案内の店で戸隠そばと少しのお酒で反省会をし、猪狩さんは善光寺参り、あとは新幹線に。桃ときゅうりは大当たりでした。

桧枝岐歌舞伎鑑賞と燧ヶ岳登山



日にち：9月1日（土）～2日（日）

参加者：加藤（記）、前田延、間瀬、井上勝、山脇

9月1日（土）歌舞伎鑑賞 曇り・時々雨

台風を気にかけながら東武線で会津高原尾瀬口～桧枝岐宿着。

雨でも歌舞伎は上演される。民宿女将の心遣いの座布団（ビニール包装）・カップ持参で会場へ、満員の観客である。自然に囲まれた舞台での夜の農村歌舞伎は、筋は解らなくても見入ってしまう迫力があつた。参道で案内する若い衆の声掛けもあたたかく、村あげて250年の伝統文化を守り育てている心意気が伝わってきた。宿での「カボチャのソル」料理は初試食、食糧難の戦後でも食べた事がなかったな～。村民減少の兆候は、桧枝岐部落にも押し寄せているとの事。

何年か越しの願いであつた歌舞伎鑑賞達成！でした。

9月2日（日）薄曇り

天候に不安があり、今日の計画を熊沢田代湿原までのピストンとした。

薄日が差す爽やかな風に気分も山モード？御池出発。8:40

雨を吸った木道は歩き始めより靴底にムズムズの緊張感を強いてくる。

木道はすぐに終わり木の根と石ころの急登になる。岩も濡れていて気が抜けない。アキノキリンソウ・リンドウが岩景色に色を添えている。

上方の明るさを目指してひたすら登り、樹林帯がパッと開けて広沢田代に到着した。周りの木々は緑一色の中、湿原は思いがけず草紅葉が始まっていて嬉しさ倍加でした。9:50

この先の熊沢田代は標高が200m高いので、草紅葉の色づきが期待される？

壊れかけた木道の斜面を、正面に燧ヶ岳を眺めながら40分登りきると、池を挟んだ熊沢田代に着いた。心なしか草紅葉は濃い。

足元の湿池にはモウセンゴケが、こんなに大きかったかな？と思える位に手足を延ばして自己アピールだ。10:50

背中を抜けていく風は小さな秋への一步を感じさせてくれた。

植物の端境期のこの時期、人にはほとんど会わず、下界の猛暑を忘れた静かな山行を楽しみながら石ごろ道下山しました。

御池着 12:40 鎌ヶ谷着 19:00

ありがとうございました。



多摩川源流 笠取山 (1953m)

日程 9月9日(日) 晴

参加者 安田、桐生、小林、江崎、五十嵐、嶋本、菊池、逢地、伏見(記)

費用 JR、往復 5500円 ジャンボタクシー 往復 2500円

船橋 6:53 あずさにて塩山へ。塩山から予約しましたジャンボタクシーで1時間弱で登山口の作場平着。支度後10時過ぎに歩き出す。暖やかでペチャクチャとおしゃべりをしながら歩ける程の樹林の坂道です。登りは沢コースを選びました。花崗岩?の様な清流はそれはそれは美しく一杯飲みたい程でした。

朝から涼しく急に秋の風情で休憩すると寒いくらいでした。笠取小屋まで2時間位で着きました。又、来年5月の会山行の偵察を兼ねて小屋主さんにいろいろ話を聞く事が出来ました。

小休止後、今日の一番の山頂までの急登を眺め頑張って20分で登り切りました。山頂は寒く記念写真後、先を急ぎましてシャクナゲと岩場の連続の緑の回廊に歩を進めました。

S・Lが「靴が岩から抜けない、段差で足が届かない」と、甘い声でブツブツと。「甘ったれるんじゃーねーよ」ちこちゃんに叱られるよ。危ない所も難なく終わりランチにするが寒くて早々に下山する。それに16時にタクシーを予約するのでゆっくり出来ない。

笠取小屋で小休止後、尾根コースを下る。途中までは清流の傍らを下るのでとても気持ちが最高に良い。新緑と紅葉の頃にはとても素晴らしいと思いましたね。

登山口の作場平の手前で15:20でしたので、ここで安田カフェの「ユリ根コーヒー」と、2日早い私のバースデーでケーキを美味しく頂きました。感謝です。

16:00のタクシーに乗り塩山から「快速ビューやまなし」で立ちんぼで帰りました。この山は私にとって3年目にやって実現しましたので感謝です。

お天気に恵まれ、富士山も眺められシニア向けの山でした。来年が待ちどおしいです。皆様有難うございました。



蝶ヶ岳に登って

清水利夫 記

日程 9月13~14日

参加者 梅田 井上 清水

8月に北アルプスの三俣、鷲羽、水晶等の山を計画していましたが、台風により計画中止になり9月は、塩見岳が台風で中止になりストレスがたまるばかりなので何とか天気の間を縫って計画をと言うことで、1泊で蝶ヶ岳に行くこととなりました。

出発当日は快晴とは言えないですが曇りで朝晩雨の予報。何とか登れるでしょうと待ち合わせの鎌ヶ谷へ向け自宅を3:40に出発。井上さん、梅田さんと合流し中央高速で安曇野を経由して三俣登山口へ。生憎三俣登山口の前で、がけ崩れがあり手前の臨時駐車場へ車を止め9:30に登山開始。

登り始めると最初からかなりの急登、体力を考えゆっくりと登り続けると、途中つり橋があったり、ゴジラのような木があったりと気持ちを和ませてくれました。急斜面を登り続けると突然平坦なところにでました。まめうち平です。ベンチもあり先には木道もあります。しばし休憩の後、登り続けると再び急斜面になります。あたりは濃霧で景色は何も見えません。2300m位まで標高をあげるとガスが切れて常念岳や他の山々が見えてきました。



樹林帯が終わって少し歩くと山小屋が見えてきました。疲れて音を上げそうなタイミングだったので少しほっとしました。小屋で休憩して生ビールを飲んだときの幸せ感は最高でした。因みに生ビールは 800 円です。食事時間になると外は大雨、昼間に降らなくてよかったと話しながら明日の予定を決め就寝。

翌朝は曇り空も、展望は良く正面に穂高の山々、槍ヶ岳、常念などの北アルプス、南アルプス、後ろを見ると八ヶ岳連峰、等など 360° の大展望で感激です。小屋を出て蝶ヶ岳まで歩き、景色を堪能して小屋に戻り下山です。



蝶ヶ岳で見る 360° の景観は素晴らしいものでした。悪天候を押して来て良かったと思う瞬間です。三俣に向かい来た道をピストンです。体力があれば常念岳を抜けて下山したかったのですが、諦めて来た道を下山しそのままホリデー湯～四季の里に直行ゆったりとお湯に入りました。お風呂は広くて綺麗で疲れがしっかりとれました。お風呂の後施設のレストランで遅めの昼食を摂り帰路につきました。余談ですが翌日は久し振りに体じゅうが痛くて困りました。

高麗峠～天覧山ウォーキング

池谷 通隆

日 程：9月16日(日)

参加者：山岡、入江、鈴木か、渡邊正、三橋、池谷、小林正、岡部

9月16日(日)、雨の土曜日は翌、日曜日に変更で正解。当初のメンバーも大分入れ替わって〈もうすぐ70〉が3人と〈もうすぐ80〉が5人の計8名。今夏は早々に夏バテで、逃げたハワイは日本以上の酷暑で更に夏バテ。2ヶ月間運動ゼロの絶不調、でも参加メンバーの顔ぶれを見て少し安心。しかも行き先が「巾着田」なら、まあ安心だろう。

ここは過去2～3回行っている。物見山～日和田山のコースの帰りに立ち寄るも、午後遅くなってゆっくり見られなかった。次は日和田山のロープ訓練の帰りに立ち寄ろうとしたが、立ち寄ったのは汗臭い男だけだがっかり。今回はゆっくりお花を觀賞しようと、重いカメラを抱えてゆく。

池袋駅で道迷い・・・ここはいつも迷う。飯能駅乗り換えで二つ目の高麗駅下車。あ～思い出したぞ、駅前広場の高い將軍標2本、沿道は野菜、栗などの収穫物を売る店が並んでいる。三連休の二日目、前日は雨、花は最盛期で人は多い。花の道を時計回りに人の行列についてゆく。立ち止まっての写真もままならない。第一、我が山の会は全く立ち止まらず、カメラを出す余裕もない。迷子になりそう。まあ、「ヒガンバナがいっぱい、きれいに咲いていた」としかコメントできない。



30分程歩いてドレミファ橋を渡れば、園のソトだ。通過しただけで300円の入園料はもったいない。

ここから「奥武蔵自然歩道」を歩く。うっそうとした樹林は雨の後でシットリして、空気は気持ちいい。少し斜度がこたえる。40分で高麗峠を通過してなだらかな「ほほえみの丘」に12時少し前に到着。ほほえみが出る程の丘ではなかったが、ここで昼食。

30分の休憩後「天覧山」を目指す。〈目指す〉ほどの意気込みはないが、なだらかないい道??だ。次の会山行はヒガンバナではなく、桜、菜の花のシーズンに行ってもいいと提案する。

山頂はこの山道続きと思いきや、いったん下り切って国道に出る。しばらく

舗装道をゆるやかに登ると登山口がある。

休憩後 40 分と結構歩く。頂上直前は長い木段を登る。標高 197mだが、眼下に飯能の町が広がる。「天覧山」とはおそれ多い名前の山だなと思ったが、やっぱり天皇(明治)が、ここから麓の軍隊の演習を天覧したんだ。

ここからゴツゴツの岩場を下り広場に出る。麓には飯能戦争の際に彰義隊の一派の本陣になった「能仁寺」があるというので興味をもって訪ねたが、また道に迷う。秋にはモミジに囲まれるいいお寺さんになる。

これで本日の全工程は終了で、飯能駅を目指すもまたまた迷う。30 分以上も歩いてやっと駅に到着。何回迷っても大事にならず、お天気も、もってよかったね。帰路のビールはうまかったよ～。



~~~~~

### 会報部からのお知らせ

3 年ほど続いた「山の唄考」シリーズが先月号をもって終了しました。続く新企画を部内で協議し、今月号から、新シリーズ「思い出の山・好きな山」を会員の皆さまの原稿で連載することといたしました。第 1 回目として、前田節子さんに「小浅間山」を執筆していただきました。

会員の皆さま全員に順送りで、執筆依頼することといたしました。内容は、なんでも構いません。山に関する思い出や、変わった体験、感激した光景や花々、また遭難しかけた話や、特に忘れられない山行等々を、A 4 版 1 頁以内で書いてください。写真はあれば付けていただき、なくても会報部でカットや写真を挿入するなど執筆者と相談しながらアレンジし編集を行います。

第 2 回目(11 月号)は手塚さん、12 月号は安彦さん、以下名簿順に執筆依頼してまいります。どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

## 体験から学ぶ山行の知恵袋

(天気予報とリーダーの判断)

四元一成

会山行で金峰山に、一泊で行った時のことでした。その時、私はリーダーを担当していました。翌日は、台風の接近の予報があったので、天気予報には特に気を付けていました。当日は、まだ良い天気でした。とても台風が来るとは、思えない良い天気でした。

順調に山小屋に着きました。夕食も美味しく食べました。

宿泊は団体が多く宿泊していました。その中に、千葉の山の会もありました。

朝、5時過ぎに、山小屋の管理人に天気予報を尋ねると、10時頃に雨が降る予報でした。出発が7時の予定でしたので、サブリーダーと相談し、6時の出発に変更しました。朝食を急いで食べ、出発の準備をして、急いで下山を始めました。

途中、富士見平で最後の休憩をしました。我々が、出発するころ、千葉の山の会が下りてきて、瑞牆山に登る予定との事でした。

我々はもうすぐ雨が降る予報なので、すぐ下山する事を伝えました。雨に降られずに9時30分にバス停に到着しました。しばらくすると、雨粒が落ちてきました。“予報通りに雨！” ほっと胸をなでおろしました。

10時のバスで増富温泉に行きました。到着する頃は、雨が土砂降りになりました。当然、瑞牆山に登った千葉の山の会が気になりました。

増富温泉に着いてから、1時間30分ほどして千葉の山の会が、増富温泉にジャンボタクシーで、横付けしていました

我々は、雨にも降られず、タクシー代も要らずに、湯ったりと温泉につかることが出来ました。台風の接近の予報が出ているのに山に登る無謀さ！！

そこでリーダーの役割を考えました。『安全に山行する事』だと思いました。

我々が新鎌ヶ谷駅に着いた9時頃は、台風の雨と強風でした。

リーダーの役割を少し勉強できた山行でした。

次号は山口洋子さんお願いします



## 夏山をふい返り

羽鳥健一郎

### 《農家民宿に泊まり飯豊山へ》

「庄太郎」控えめに立つ看板が民宿の温もり我らに伝えし  
夕餉前村の神社で手を合わせ飯豊登山の無事を祈りぬ  
手作りの心こもった逸品が夕餉の膳を埋め尽くしたり  
ふる里の我が家に帰った心地せし民宿の夜涼し熟睡  
リュックには婆ちゃん作りしチマキ詰め大日杉より登り始めん  
飯豊山へ三リットルの水詰めしリュックが肩にぐっと食い込む  
飯豊山マツムシソウやリンドウが足元飾り秋の気配も  
空青くトンボの群れが飛び交いし飯豊の尾根に吹く風涼し  
切りあわせ  
切 合 小屋のカレーをお代りし飯豊本山振り返る夕べ



「大沼池と岩菅山」

撮影：猪狩さん

### 《夏の志賀高原》

前山のリフトに揺られゆったりと登るゲレンデ花咲き誇る  
横手山笠ヶ岳が目交いに前山標高1700メートル  
緑濃き志賀高原の池巡り吹く風涼し足取り軽ろし  
梨むきて志賀山手前の一休み甘き果汁が体を癒す  
志賀山と裏志賀山の登り下り思いの外に難儀すシニアら  
エメラルドグリーンの大沼池よ赤い鳥居が彼方に立てり  
スキーとは打って変わりし志賀の夏汗を拭きふきリュックを背負い  
去年の冬焼額山より眺めたる岩菅山に仲間らと立つ  
岩菅山のアライタ沢の冷たさよ喉を潤し疲れを飛ばす  
冬景色思い起こしつゲレンデを振り返り見んゴーラーノ瀬

## おすすめの宿

菊池 光子

小豆島八十八ヶ所霊場巡り“ゆっくり歩き遍路モデルコース”を29年4月、11月、30年4月の三回に分けて巡りました。1回目は宿を転々としましたが、2回目、3回目は同じ宿に連泊しました。その2回目、3回目の思い出を綴りたいと思います。

小豆島の土庄港に降り立った後は、ゆったりと舗装道路を歩き、山登りや岩登りもある霊場巡りを楽しみましたが、1日に15か所も巡った日もあり愉快で楽しいやじきた道中でした。

秋の寒霞溪は紅葉が見事で、ロープウェイもありましたが自称山ガール四人は健脚を競いながら歩いて山頂を目指しました。眼下に瀬戸内の海を見ながらの山行は、普段の山歩きと違ってとても新鮮で大感激でした。

また、坪井栄の「二十四の瞳」で有名な映画村にも足を延ばし、資料館で当時の生活等に思いを馳せました。（この原稿を書いている9月15日は、奇しくも木下恵介監督、高峰秀子主演の松竹映画「二十四の瞳」が昭和29年に封切された日でした。）

ところで、島の人達は皆親切で、道を尋ねると目的の寺まで送ってくれたり、宿まで送ってくれたり、とても感激しました。「お接待」だそうです。

合わせて6泊した宿「ひろきや旅館」のご夫妻は、とても気さくな方で、途中まで送り迎えをしてくれたり、私達が道中摘んできたタラの芽やアケビの新芽を茹でたりてんぷらにして他のお客にもふるまってくれたり、すっかり馴染みになりました。小豆島を訪れるときは是非ご利用ください。

＜次号は前田延津子さんお願いします＞



### ひろきや旅館

〒761 - 4411

香川県小豆郡小豆島町

安田甲 752-1

Tel 0879-82-0137

## 思い出の山 小浅間山

前田 節子

昨年の11月、会山行の「小浅間山・信濃路自然歩道」に参加しました。

秋も深まり、軽井沢の町中は、紅葉が真っ赤に紅葉していました。快晴ともいえるほどの晴天で、吹く風も涼しく気持ちよく歩けました。やがて山頂に着くと目の前に大きな浅間山が聳え、360度の展望で大感激でした。下山し信濃路自然歩道を歩き、白糸の滝に着きました。「そういえば、この白糸の滝は中学の林間学校で来たことがあるな。」と懐かしく思い出しました。初めての小浅間山、気持ちよく歩けた良い山行でした。…ところが…

今年の春押し入れを整理していたら、隅っこの方に山積みされた卒業アルバムが出てきました。小学校・中学校・高校と懐かしく思いながらページをめくると、「軽井沢 高原生活」と題された中学2年の林間学校のページがありました。そこで見つけた1枚の写真。小浅間山の頂上で休息する生徒達。大きく見えるのは浅間山の雄姿です。昨年見た景色と一緒でした。昨年初めて登ったと思ったけれど、なんと50年も前に登っていたのです。その時は全く思い出さず、忘れていました。中央付近で立っているのが私です。白の体操服とトレパンにナップザック。帽子はというと、女子はリボンのついた麦わら帽子。男子は黒い学生帽に白い覆いを付けています。50年前はこんな格好だったのですね。仲良しだった〇〇ちゃん、今どうしているかな。急に友達や先生方の顔が浮かんで来ました。元気なおじいさん・おばあさんになっていますか？

すっかり忘れていたのにおかしいけど、今となっては心に残る「思い出の山」になりました。



## ちょっと一言



今年の猛暑は夜中まで続き、クーラーの助けが無ければ寝られない日々が続く。一時涼しくなった時、物騒だが窓をあけたまま寝た。すると賑やかな虫の音に気付かされた。古来虫の音は「リンリン」「ガチャガチャ」「キリキリ」等文字表現しているが、私の耳にはもっと複雑に聞こえる。しかし秋の訪れを感じさせる心和む「音の風物詩」だ。しきりに鳴くのは、オスがメスに求愛している合図とか。夜遅くまでご苦労な話したが、深夜の求愛は流石にうるさく感じる。何時ごろまで鳴いているのか確認できずに白河夜船になるが、虫さんも遅くまで頑張らず寝て欲しい。それにしても「蚊」にだけは言いたい。「早く寝ろ」。

井上（順）

### 「注意 1 秒・怪我長期」

最近のハイキングでの体験です。年齢とともに、体力の低下、集中力の弱まりもあり、小石に乗りズルリ。根っこにひっかかり、オットット。大きな株に躓いてスッテンころりん一回転。

やってしまった！奇跡的になんともなく無事だった！

一日の最後の 1 時間、下り坂は注意。集中、集中です。まだまだ沢山、ハイキングに参加したいので。

「注意 1 秒・怪我長期」を心に留めて山行に挑戦していこうと思うこの頃です。

（山口 幸雄）

11 月号の担当は、 前田悟さんと清水利夫さんです。

（ 10 月 18 日頃をメドに、原稿を高山宛メールにて送付お願い致します。 ）

★ 会報掲載の記事作成上必要なため、 上記厳守お願いします。

（ 高山 ）

## 編集後記

今月の記事“蝶ヶ岳に登って”を書いていて気が付いたのですが最近30代位の女性の単独登山者が増えているなど感じます。今回も山小屋で見かけただけで3人の1人旅の女性を見かけました。その他にすれ違う登山者はテント泊と思われる装備で歩く女性登山者も数多く見かけました。皆、単独行です。時代は変わり、女性は強くなり行動力も男性並みになり今までの女性への認識を変えなければ、そのうち男性が山で労わられる立場になってしまうかもしれませんね！  
(トシ)

「敬老の日」の話題を拾ってみた。

昭和38年に153人だった100歳以上の高齢者が6万9,000人を超えたが、元気な100歳は例外で、現在100歳以上の高齢者に支払われる医療費と介護費は年間300万円超。

敬老の日に京都の精肉チェーン店が年齢に応じた割引セールを行った。99歳の人99%、100歳の人無料、65歳以上の人対象で300gまで。

当地にもこんな太っ腹なオーナーいないかな？

(かっちゃん)

### 原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォント MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月第二例会までをお願いします。

<担当> 鈴木か、前田せ、高木、山脇

写真は1ページ1枚とさせていただきます。

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 平成30年10月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集者 梅田 尚志